

第5章 環境教育

第1節 環境教育および啓発事業の推進	110
1. 環境学習センターの取り組み	110
2. 環境保全課の取り組み	114

第1節 環境教育および啓発事業の推進

1. 環境学習センターの取り組み

四日市市環境学習センターは、平成8年8月1日、子どもから大人までを対象に、日常生活と環境の関わりについての関心と理解を深め、環境に配慮した行動がとれる市民の育成を目的に開館した。市民が自主的に、楽しく環境の学習ができる拠点施設となることを目指して、平成20年度は次のような事業を行った。

1. 普及啓発事業

(1) バスで行く自然体験教室

身近な自然に対する関心を深め、環境保全意識が高まることを目的に、小・中学生とその保護者を対象として2回実施した。

実施日	場 所
6 / 7 (土)	四日市の天然記念物と蛭
10 / 25 (土)	暮らしのエネルギー・今と昔

(2) バスで行く環境教室

四日市公害からの教訓や現在の環境対策を学ぶことを目的に、市民を対象にして1回実施した。

実施日	場 所
8 / 1 (金)	リサイクル工場見学と伊勢湾の環境

(3) 四日市の身近な自然調べ

小学生が身近な生き物に目を向けることにより、自然とのふれ合いを楽しむとともに、自然への関心を深めてもらうため、生き物を「探す・採る・調べる」などの自然体験ができる「四日市の身近な自然調べ」を4月から12月にかけて7回実施した。

(4) よんかんセミナー・四日市環境セミナー

小学校高学年から一般市民を対象に大気汚染やゴミリサイクル等をテーマにして講義と実験・観察を組み合わせたセミナーを3回、企業OBの方を講師としてこれまでの環境分野の知識や経験を市民に伝えるセミナーを3回5講座実施した。

実施日	内 容
9 / 6日(土)	体と環境の汚染をストップ！！ 講師：J A Aアロマコーディネーター 中西孝子氏
	地球温暖化の現状 講師：三重県地球温暖化防止活動推進員 伊藤康彦氏
11 / 1日(土)	地球温暖化と二酸化炭素よもやま話 講師：三重県地球温暖化防止活動推進員 黄田治明氏
	四日市公害の教訓 講師：四日市再生「公害市民塾」山本勝治氏
1 / 31日(土)	廃食用油のリサイクルを通じて地球環境を考える！！ 講師：NPO国際資源活用協会副理事長 岡崎忠男氏

(5) 夏休み自由研究相談室

小・中学生を対象に、「夏休み自由研究の仕方相談室」(7月26日(土))、「夏休み自由研究のまとめ方相談室」(8月23日(土))を、植物、昆虫、地学、天文、気象などの分野ごとに、四日市自然保護推進委員会委員等の協力を得て実施した。

(6) エコ工作体験教室

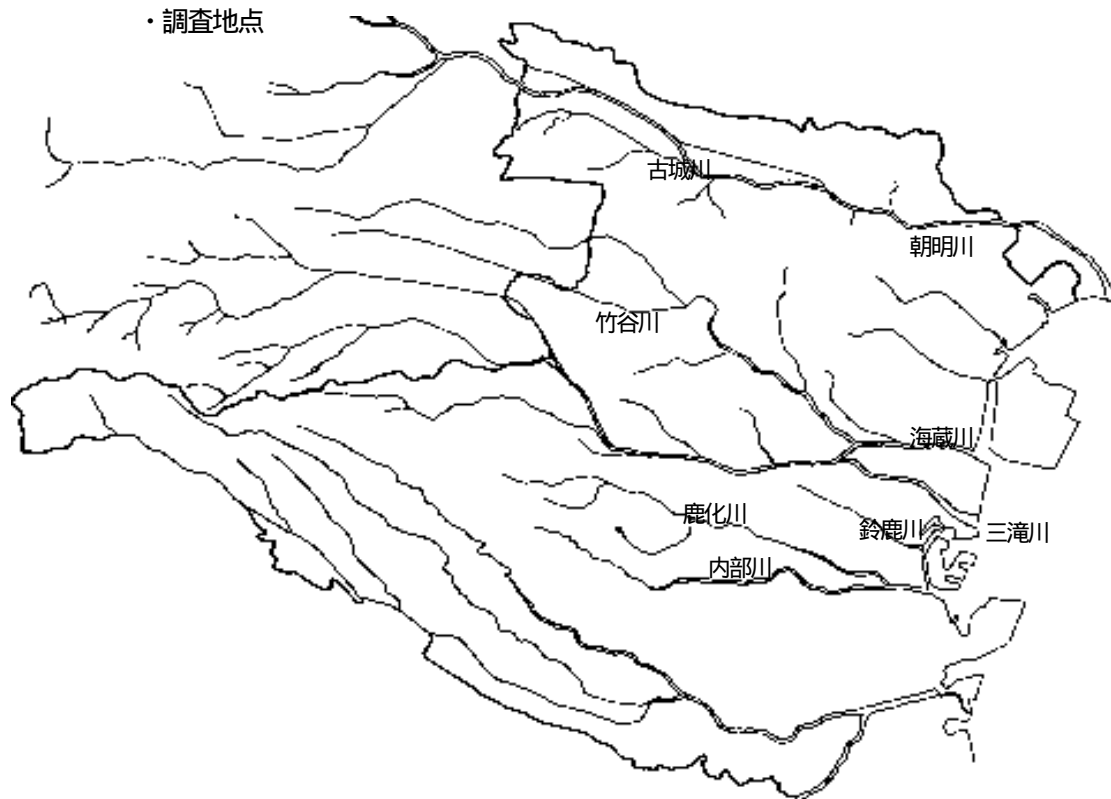
市民を対象に不用になったものに新たな役目を与え、物を大切にして省資源・省エネルギーの意識啓発につなげる実習を5回実施した。

開催日	内 容
6 / 2 1 (土)	カゴ作り体験教室
8 / 1 6 (土)	すばこ作り体験教室
1 2 / 2 0 (土)	ミニ門松作り体験教室
1 / 2 4 (土)	布ぞうり作り体験教室 (第 1 回)
2 / 2 8 (土)	布ぞうり作り体験教室 (第 2 回)

(7) 水生生物調査

水生生物を調べることによって河川の水質判定を行うとともに、自然環境保護活動の普及・啓発をはかるため、水生生物調査指導員の協力を得て、内部川、鹿化川、朝明川において水生生物調査を 地点で実施した。

水生生物調査結果
・調査地点



調査結果

調査地点番号						
河川名				朝明川	内部川	鹿化川
調査地点名				里端上流	矢矧橋上流付近	新川島橋上流付近
調査年月日				6月20日	8月9日	7月27日
時間				10:00	10:00	10:00
天候				くもり	晴れ	晴れ
水温()				21.0	27.0	28.0
川幅(m)				27	21	1、
採取場所				上流から見て左岸	全体	全体
水深(cm)				50	13	2
流速				普通	普通	普通
川底の状態				小石と砂	こぶし大の石	小石と砂
水のおい				感じない	感じない	感じない
水のにごり				少し濁っている	少し濁っている	きれい
指標生物の出現状況	きれいな水	1	アミカ			
		2	ウズムシ			
		3	カワゲラ	○		
		4	サワガニ	○		
		5	ナガレトビケラ	○		
		6	ヒラタカゲロウ	○		
		7	フユ			
		8	ヘビトンボ	○		
		9	ヤマトビケラ			
	少しき たない 水	10	イシマキガイ	○		
		11	オオシマトビケラ	○		
		12	カワニナ	○		
		13	ゲンジボタル			
		14	コオニヤンマ	○		
		15	コガタシマトビケラ	○		
		16	スジエビ			
		17	ヒラタドROMシ			
		18	ヤマトシジミ			
	きたない水	19	イソコツブムシ	○		
		20	タイコウチ			
		21	タニシ	○		
		22	ニホンドロソコエビ			
		23	ヒル	○		
		24	ミズカマキリ	○		
		25	ミズムシ			
	大変き たない 水	26	アメリカザリガニ	○		
		27	エラミミズ			
		28	サカマキガイ	○		
		29	セスジユスリカ			
		30	チョウバエ	○		
水質階級の判定						

注： ○は出現した生物。 ○はそのうち数が多かった上位から2番目まで。

2. 人材育成事業

地域における市民の自主的な環境学習、環境保全活動のリーダーとして活躍できる人材の発掘と育成を目的として「環境リーダー養成講座」基礎編・応用編および三四小中学校教員を対象とした教員編を開催した。

また、これまでの講座修了生を対象にスキルアップ研修会を3回開催した。

環境リーダー養成講座（基礎編）

実施日	内 容
7 / 12 (土)	日本公害史 - 日本の公害からの教訓 (講義) 四日市の自然について (講義)
8 / 30 (土)	ごみ処理の歴史と現状 (講義) 地球環境問題と世界から見た日本の現状 (講義)
9 / 13 (土)	四日市の自然観察 (体験)

環境リーダー養成講座（応用編）

実施日	内 容
10 / 18 (土)	ごみ問題、リサイクルとグローバル経済 (講義) 身近な省資源省エネルギーについて (グループ討議)
11 / 8 (土)	持続可能な社会の構築 - 土壌と文化について - (講義) 持続可能な社会の構築 - 事例から考える循環型社会 ~ (講義)
12 / 6 (土)	環境保全活動 - 産廃跡地などの有効利用 - (講義) エネルギー環境・ディベート
1 / 17 (土)	インタープリテーション (自然案内人) について (講義) 環境活動のまとめ

環境リーダー養成講座（教員編）

実施日	内 容
8 / 6 (水)	~水の生態系について~ 身近な藻類の利用と知られざる毒性 (講義)
8 / 7 (木)	暮らしと水環境 (体験研修)

環境リーダースキルアップ

実施日	内 容
9 / 20 (土)	まんがで学ぶエネルギーの変遷 (講義) 竹の利用促進 つるべ井戸作り (竹細工) (体験)
10 / 11 (土)	リサイクル工場視察研修とクラフトづくりと自然探索 (視察及び体験研修)
11 / 15 (土)	環境リーダーの役割・総合学習支援への対応 (講義) 環境NPOの立ち上げと運営方法 (講義)

3. 交流・活動支援事業

(1) こどもエコクラブ支援事業

市内の96クラブの15,565人が登録した。また、交流会も兼ねて11月22日(土)に環境保全活動団体及び企業の協力を得て「エコまつり」を開催し、240人が参加した。

4. 情報提供事業

(1) 環境情報誌『エコステージ第13号』の発行

地域環境リーダー養成講座受講修了生の有志による編集委員会によって企画、編集された環境情報誌を発行した。

(2) 『よんかんニュース』の発行

年8回発行し、センター事業の紹介、募集や環境学習センターのPRに努めた。

5. その他

「総合的な学習の時間」等に対する支援事業

小・中学校・大学や各地区からの要請を受けて、環境に関する野外体験学習や、四日市公害の学習の支援を行った。

2. 環境保全課の取り組み

1. 環境情報の提供

(1) 「四日市のかんきょう」の作成

四日市の公害の歴史や現状について正しく知り、考えるための手引書として、平成13年度までA4版16ページの小冊子を作成していたが、現在はホームページに掲載している。

(2) 「広報よっかいち」への特集ページの掲載

「広報よっかいち」6月上旬号に「みんなで進めようよっかいち1人1日1kgCO₂ダイエット」と題して市内のCO₂排出量の増減率の推移を示すとともに、家庭での取り組みの柱となる6つのプランを紹介し、市民一人ひとりの身近な取組みを呼びかけた。また、家庭用及び中小事業者等向け太陽光発電システム設置費補助についての募集等の周知を行った。

2. 地球温暖化対策の推進

(1) 四日市市環境フォーラムの取組み

市民、事業者、行政が参加する「四日市市環境フォーラム」を設立し、環境に対する総合的な取組をおこなった。12月にじばさん三重において、シンポジウムと展

示&交流会を実施した。

日時：平成 20 年 12 月 7 日（日）

会場：じばさん三重、出展者数 25 団体、参加者約 300 人

シンポジウム基調講演：國保元愷会長

事例発表者：桜台連合自治会、KIEP ' S、北星高校

(2) 姉妹都市・友好都市による中学生環境サミット

夏休み期間中（8 / 12 ~ 20）に市内中学生と友好都市である天津市、姉妹都市であるロングビーチ市の中高生を対象に、環境問題のグローバルな考え方や取り組みについての理解や交流を深めてもらうことを目的に、国際環境技術移転研究センター等において、環境学習を実施した。

(3) 市内の事業所や三重県と協力して、小学生向けの地球温暖化関連教材「こどもよっかいちCO₂ダイエット作戦」の導入検討を進めた。

(4) 四日市地域環境対策協議会向けに四日市公害の記録ビデオである「証言・四日市公害の記録」の貸出しについて周知した。また、広く貸出しできるよう、DVD化を行なった。

(5) J A F 三重支部の協力により、市民を対象としたエコドライブ講習会を年 3 回実施した。

実施日	実施場所
6 / 25 (水)	四日市自動車学校
10 / 5 (日)	霞ヶ浦緑地
3 / 5 (木)	霞ヶ浦緑地

(6) 商工会議所、霞ヶ浦地区企業や四日市港管理組合との協働により、公共交通機関、自転車、徒歩や相乗りなど、環境負荷の低い方法での通勤を年 2 回実施した。また、ライトダウンキャンペーンや環境配慮行動のシンポジウムにも協力を行った。